

周産期母子医療センター（母体・胎児部門）

1. 概要

愛知県より東三河初の総合周産期母子医療センターに指定されてから4年が経過した。従来から東三河の周産期の基幹病院として多くの母体搬送や産褥搬送を受け入れてきたが、総合周産期母子医療センターに指定されてからは、さらにより良い結果になるよう小児科新生児グループの医師と協力して、診断・治療を行っている。

超緊急帝王切開すなわち、帝王切開決定から児娩出までの時間が30分以内と義務付けられているが、小児科医師、麻酔科医師、手術室看護師、病棟助産師及び看護師の協力により迅速に対応でき、日勤帯夜勤帯を問わずほぼ全例で達成できている。超緊急帝王切開施行症例数は県内でもトップクラスに多い。産婦人科当直医2人体制を維持するのは大変であるが、東三河地域において市民から信頼されるよう、また高度な周産期医療を維持するためスタッフ全員で努力している。

（センター長 河井 通泰）

2. 活動報告

(1) 主な症例数

	平成 29 年度
超緊急帝王切開	15 件
うち 30 分以内児娩出	14 件
うち他施設からの搬送	7 件
母体死亡	0 件
母体搬送受け入れ	186 件
母体搬送応需不可	4 件
母体搬送応需率	97.9%